

# 平成29年度 文京区立明化小学校 授業改善推進プラン

## 第5学年

	児童の実態	指導のめあて	具体的な授業改善の方法	2学期評価	3学期評価
国語	<p>○話す・聞く、書く、読むことの基本的な力は、概ね、身に付いているが、構成を考慮して話すことや文章全体を見通して事柄を整理して書くこと、事実と感想、意見などとの関係を押さえ自分の考えを明確にしながら読むことは、まだ課題がある。</p> <p>○漢字の学習にほとんどの児童が意欲的に取り組んでいるが、定着度には差がある。</p>	<p>○構成を考慮して話す力や文章全体を見通して事柄を整理して書く力、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読む力を身に付ける。</p> <p>○漢字を正しく覚える。</p>	<p>○話す前、書く前に構成メモを作り、話すことや書くことの構成を意識させる。書かれている意見に着目させ、それに対してどのように考えるか意識をして読ませる。</p> <p>○漢字練習に家庭学習でも取り組めるよう、計画的に宿題にする。また、定期的に漢字テストを行うとともに文章の中で漸次使うよう指導する。</p>		
社会	<p>○学習に対する基礎的な知識は概ね身に付いている。しかし、一つの資料から様々なことを読み取り、他の資料と関連させて課題を解決することができるような読み取りには至っていない児童が多い。</p> <p>○学習課題について意欲的に調べようとしている児童が多いものの、実生活と関連しているという意識が低い。</p>	<p>○資料を効果的に読み取る力を育て、課題に対して広く深く考察することが、できるようにする。</p> <p>○食料生産、工業生産、情報産業等への興味・関心を高める。</p>	<p>○資料の読み取り方や見方について丁寧に指導すると共に資料をもとにわかったことや気付いたこと、思ったこと等を書かせ、交流させることで互いの気付きや考察を深める。</p> <p>○教科書の資料だけでなく、身近な話題、事象から食料生産、工業生産、情報産業とのつながりを認識させ、学習への興味関心を高め、自分の気付きや考えを書かせる。</p>		

算数	<p>○既習事項の定着に差がある。</p> <p>○文章問題から、立式できる児童がいる。しかし、立式した根拠を言葉にして説明することに課題がある。</p>	<p>○教科書の内容を確実に理解できる児童を育てる。</p> <p>○演算決定の根拠を自分の言葉で論理的に表現できるようにする。</p>	<p>○習熟度別少人数指導を通して、苦手な児童に対して細やかな支援を行う。また、必要があれば時間外の個別指導を行う。</p> <p>○問題文を図や絵、数直線などを用いて分析したり、分かりやすく説明したりして論理的思考や数学的思考を高めていくようにする。</p>		
理科	<p>○実験や観察に興味・関心をもって学習に取り組む児童が多い。</p> <p>○実験方法が変わると、実験の目的やねらいを理解できず、調べたい条件を制御できない児童が多い。</p>	<p>○自ら立てた仮説を検証するための実験方法を考える力を育てる。</p> <p>○実験方法をみて、何を知るための実験なのかを条件に注目しながら読み取る力を育てる。</p>	<p>○児童が学習内容について疑問をもつような実験や資料の提示を行い、自ら立てた仮説を検証するために「何を調べるかを」意識しながら、実験方法を考えるように指導する。</p> <p>○友達の実験方法を見る機会をつくるなど、実験方法をもとに話し合う場面を設ける。</p>		
体育	<p>○ソフトバレーなど、チームで協力したり作戦を練って活動したりすることが好きな児童が多い。</p> <p>○走る運動、ボール運動、水泳等、基本的な運動の定着に差がある。</p>	<p>○運動が苦手な児童が安心して学習に取り組めるように、協力しながら互いを認め合う姿勢を育てる。</p> <p>○自らめあてをもち、基本的な動きを体得するとともに、運動すること楽しさや喜びを感じる児童を育てる。</p>	<p>○チームプレーの場合、めあてやめあて実現の方法、個々の役割等を具体的に立てさせ、チームで評価させる。</p> <p>○基本的な動きを自ら体得させるために、個々にめあてをもたせるとともに、グループで互いの動きの長所や短所を観察、意見交換させたり相互評価させたりして技能を高め合う。</p> <p>○個々のめあてに合った学習が</p>		

		できているか、様子を観察し、 賞賛、励まし、支援等を行う。		
--	--	----------------------------------	--	--